



■2025年度2月例会フェミカフェ■
「シリーズ著書を語る・著者と語る第2弾」

荒木菜穂著 『分断されないフェミニズム』

ほどほどに、誰かとつながり、生き延びる』

2023年12月出版の本著では、フェミニズムのなかにある揺れ動く部分、一筋縄ではいかない部分をまとまりのない形ではありますが綴らせていただきました。拙いわたしには处方箋のような理論を紡ぐことはできませんが、皆さんご自身や誰かのフェミニズムとの関係を考えるきっかけになればよいなと思ってきました。「分断しない」ではなく「分断されない」。合わないとき、分断してしまうことはやむを得ないけど、フェミニストどうし、女同士は敵対するだろうという社会によって分断させられるのはまっぴら。だからといって、みんな同じ方向を向けるだけでもない…

…そんな感じで日常の中のフェミを語り合える場になればと思います(荒木)。

日時：2025年2月23日（日）13:30-15:30（予定）

開催方法：オンラインのみ（ZOOM）

参加費：1000円 ※日本女性学研究会会員は無料



…お申込みは以下のフォームもしくは右の QR コードよりお願ひいたします。

（締切2月17日） <https://forms.gle/E9JtYvrujRomcEPN6>

※お支払い方法（ゆうちょ）はお申し込み後にお伝えします。

※参加 URL はお申込み完了後 2/21 までにお送りします。2/21 までに参加 URL のメールが不着の場合はお手数おかけいたしますが wss.j.voice@gmail.com までご連絡ください。※ZOOM の使用環境等は各自ご準備下さい。

■関連サイト■

■【青弓社さんのサイト】原稿の余白に：どうしよう、どうしよう……のフェミニズム→

<https://yomimono.seikyusha.co.jp/yohakuni/blank203.html>



■【栗田隆子さんにいただいた書評】おさまりの悪い歴史、そして経験
(『女性学年報』45号(2024)) →

https://www.jstage.jst.go.jp/article/arws/45/0/45_152/_article/-char/ja



■【WANに勝手に連載】個人的なフェミニズム—そこにあった、やわらかい政治

<https://wan.or.jp/general/category/personalfemi>

